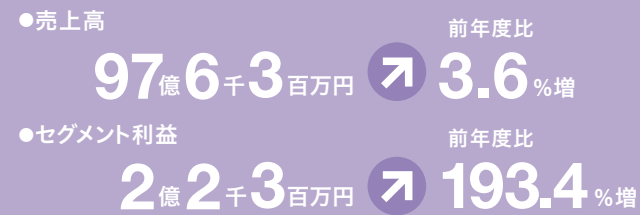


セグメント別事業戦略  
Business strategy by segment

## その他産業用製品事業

2021年度のセグメント業績



### 2021年度の振り返り

エアフィルタやファンフィルタユニット等の空調製品は、半導体業界や建築業界の好調を受け、業績は堅調に推移した1年でした。さらにCOVID-19の影響で環境面や防疫でフィルタ技術が注目され、製品が好意的に捉えられたことで、業績の底上げにつながりました。またフィルタだけでなくモニタリング製品も好調で、菌を測定するキット「ATP」がビルメンテナンス事業者のリポート需要によって販売を伸ばす等、全方位での製品展開ができました。一方で、原材料費の値上がりや、海外からの資材調達の遅れによる機会損失等のマイナス要因はあったものの、今期以降、改善していくものと予測しています。

#### 空調製品(フィルタ) (半導体製造会社、製薬会社、病院等)

##### 【今後の成長戦略】

サステナビリティ推進活動として、省エネ・省資源・省コスト貢献製品の拡販を推進していき、既存事業の持続的成長や、新製品開発、新事業のさらなる開拓を進めていく。

#### 医療用ゴム製品、 プラスチック製医療機器

##### 【今後の成長戦略】

医薬用ゴム製品事業における成長／新規顧客獲得を目指す。衛生用ゴム部品の製品の競争力をより強化させ差別化を図り、プラスチック製医療機器のシェア拡大へ。

## その他事業

2021年度のセグメント業績



##### 【主な事業内容】

不動産事業、  
経営指導事業、  
自動車運転免許教習事業、  
山林事業 等



### 2021年度の振り返り

#### 不動産事業

(土地および建物の賃貸)

コロナ禍による一部テナントの退去や賃料改定もあり、売上高は8億1千1百万円となりました。セグメント利益は、2億2千3百万円と前連結会計年度比3千8百万円の減少(14.5%減)となりました。

#### 経営指導事業

(関係会社に対する経営指導)

経営指導の対象となる関連会社の業績が好調に推移した結果、売上高は16億4千5百万円となりました。セグメント利益は、14億5千7百万円と前連結会計年度比1億9千6百万円の増加(15.6%増)となりました。

#### その他

(自動車運転免許教習事業、山林事業 等)

自動車運転免許教習事業や北海道における山林事業で構成されるその他の事業の売上高は13億3千2百万円となりました。セグメント利益は、1億1千7百万円と前連結会計年度比8千6百万円の増加(273.4%増)となりました。

### PICK UP

[空調製品]

## クリーンエンジニアリング事業部

未来の柱となる新たな事業領域を探索、  
ライフサイエンス分野への挑戦。



#### 事業部分析

##### 事業部の強み

環境対策や社会貢献は事業開始時からの取り組みで、経験値が高い。空気環境対策に関する、安全・安心・快適への顧客・社会ニーズの高まりに対する各種対応力。

##### 今後の課題

・SDGsに対応する環境対応製品による拡販推進。  
・海外拠点を活かした中国から南アジアにかけてのグローバル展開。

#### 2030年へ向けた事業戦略概要

1. 既存製品の持続的成長 (新規/リピートSBU※、測定器SBU※)
2. 新製品開発の加速 (機器装置SBU※)
3. 新事業の探索 (ライフサイエンス)

※SBU:セグメントビジネスユニット

### 顧客ニーズへの対応をさらに深化

既存製品の販売網としては、長年にわたって構築されてきた代理店ネットワークを活用し、さらなる拡販を推進しています。また、顧客との会話を通じて、顧客ニーズをいち早く的確に察知し、社会の変化への対応を行っています。

こちらで収集した情報や課題をもとに研究開発、顧客提案を行うことにより、既存製品のさらなる深化と新製品開発をもって、顧客満足につなげるよう取り組みをしています。

### 新事業ライフサイエンス分野への挑戦

数年前から再生医療分野での官学との取り組みを推進し、大学との共同研究や学術発表等を通じて、ニッタグループの新しい事業分野として、一般社会に向けての認知拡大を図っています。そこで、フィルタ、バイオカウンタ、除染、再生医療の各製品を層別してニッタライフサイエンス製品群とし、新たなブランド「BCLEEN」※を立ち上げています。今後の成長が期待される黎明期の業界において、当事業部はいち早く参入したスタートアップ企業として、業界とともに大きく成長することを目指しています。

※「BCLEEN」:「B」はバイオ、「CLEEN」はクリーンとエンジニアリングを合わせた造語。